

別記第七号の四様式 (第七条、第二十条、第二十四条、第四十四条、第五十六条の三関係)

日本国政府法務省

指 定 書

氏 名

国籍・地域

出入国管理及び難民認定法別表第1の5の表の下欄の規定に基づき上記の者が本邦において行うことができる活動を次のとおり指定します。

日 本 国 法 務 大 臣

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列5番又はA列6番とする。

別記第八号様式（第八条関係）

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

通 知 書

殿

出入国管理及び難民認定法第10条第5項（第48条第5項において準用する場合を含む。）の規定により、下記のとおりあなたの証言を求めることになりましたので、出頭してください。

1 証 人

氏 名

男  
女

国籍・地域

居 住 地

2 出頭を求める年月日時及び場所

年 月 日 時

3 証言を求める理由

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

特別審理官

（注）用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第九号様式（第九条関係）

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

認 定 通 知 書

殿

1 氏 名

男

女

2 生 年 月 日

年 月 日

3 国 籍 ・ 地 域

あなたに対し口頭審理を行った結果、下記のとおり認定したので、通知します。

認 定 要 旨

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

特別審理官

（注）用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第十一号様式（第十条、第十二条の二関係）

日本国政府法務省	番 号 年 月 日
退 去 命 令 書	
1 氏 名	男 女
2 生 年 月 日	年 月 日
3 国 籍・地 域	
<p>出入国管理及び難民認定法第 条第 項の規定に基づき、本邦からの退去を命じます。</p>	
<p>(1) 出国日 (2) 出国便 (3) 送還責任者</p>	
<p>出入国管理及び難民認定法第13条の2第1項の規定に基づきとどまることができる期間及び施設を次のとおり指定します。</p>	
<p>(1) とどまることができる期間 (2) とどまることができる施設</p>	
<p>なお、あなたが上記の出国日までに出国しないときは退去強制されることとなります。</p>	
出入国在留管理庁 主任 審 査 官	出入国在留管理局 支局 出張所
特別 審 理 官	

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第十二号様式（第十条、第十二条の二関係）

日本国政府法務省	番 号 年 月 日
退 去 命 令 通 知 書	
殿	
1 氏 名	男 女
2 生 年 月 日	年 月 日
3 国 籍・地 域	
<p>上記の者に対し、年 月 日出入国管理及び難民認定法第 条第 項の規定に基づき、本邦からの退去を命じたので、通知します。</p>	
<p>貴社（あなた）は、同法第59条の規定により、貴社（あなた）の責任と費用で同人を本邦外の地域に送還しなければなりません。</p>	
<p>(1) 出国日</p> <p>(2) 出国便</p>	
<p>上記の者について、出入国管理及び難民認定法第13条の2第1項の規定に基づきとどまることができる期間及び施設を次のとおり指定します。</p>	
<p>(1) とどまることができる期間</p> <p>(2) とどまることができる施設</p>	
出入国在留管理庁	出入国在留管理局 支局 出張所
主任 審 査 官	
特 別 審 理 官	

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第十四号様式（第十二条関係）

日本国政府法務省

番 号  
年 月 日

仮上陸許可書

出入国管理及び難民認定法第13条の規定に基づき、仮上陸を許可します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 仮上陸の条件

(1) 住居及び行動範囲

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

(2) 出頭を命じられたときは、指定された日時及び場所に出頭しなければなりません。

(3) その他

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

主任審査官 \_\_\_\_\_

注 意

- 1 仮上陸の期間は、上陸手続が完了するときまでの間です。
- 2 上記の仮上陸の条件を遵守してください。
- 3 住居や行動範囲の変更を希望するときは、あらかじめ主任審査官の承認を受ける必要があります。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列5番とする。

別記第十五号様式（第十二条、第三十六条の二関係）

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

保 管 金 受 領 証 書

殿

金 \_\_\_\_\_

保管の事由

上記金額を領収しました。

出入国在留管理庁 入国者収容所

出入国在留管理局

歳入歳出外現金出納官吏 \_\_\_\_\_

年 月 日

出入国在留管理庁 入国者収容所

出入国在留管理局

歳入歳出外現金出納官吏 殿

金 \_\_\_\_\_

上記金額を領収しました。

氏 名 \_\_\_\_\_

居 住 地 \_\_\_\_\_

署 名

別記第十六号様式（第十二条関係）

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

保 証 金 没 取 通 知 書

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_  
年 月 日

3 国 籍・地 域 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第13条第5項の規定に基づき、下記の理由により、仮上  
陸許可の保証金の<sup>全部</sup><sub>一部</sub>金 \_\_\_\_\_ 円を没取したので、通知します。

理由

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

主 任 審 査 官 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第二十六号の二様式（第十八条関係）

日本国政府法務省

番 号
年 月 日

一時庇護のための上陸許可に関する申告書						
氏 名					性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	(年)	(月)	(日)			
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）				出生地		
本国における居住地						
本邦上陸年月日	(年)	(月)	(日)	上陸港		
	所持の有無	(ありの場合) 番号			所持の有無	(ありの場合) 名称
旅 券	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			その他の所持する身分証等	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	

来日前の居住歴	居 住 期 間		居 住 地	
	(YY/MM/DD)	～ (YY/MM/DD)		
		～		
		～		
		～		

来日前の最終学歴	種 別		学校名	所在地	修了状況	卒業・中退年月日 (YY/MM/DD)
	<input type="checkbox"/> 初等 <input type="checkbox"/> 中等 <input type="checkbox"/> 高等 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他 ( )					

来日前の職歴	職歴の有無		期間 (年月日)		会社等名	所在地
	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		(YY/MM/DD)	(YY/MM/DD)		

官 用 欄

--

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

家族構成（在日）		（注）5人以上は別紙を提出してください。			
続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
		(YY/MM/DD)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		

家族構成（在外）		（注）5人以上は別紙を提出してください。			
続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
		(YY/MM/DD)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		

民族・部族		宗教		宗派			
使用言語		読むこと		話すこと		書くこと	
母語		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
その他の可能な言語		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可

その1

1 あなたが本国から脱出した日、場所、方法及び日本に到着するまでの経緯について具体的に書いてください。

2 あなたは、最初から日本に来ることを希望していましたか。

はい                       いいえ

「いいえ」と答えた場合、どの国を希望していたのですか。また、日本に希望を変えた理由は何ですか。

3 あなたは、本国を脱出する際に出国の手続を誰かに依頼しましたか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合、その人物の名前を挙げてください。その費用はいくらでしたか。

4-1

(1) あなたは、現在、旅券その他の旅行文書を所持していますか。

はい → 4-2を回答してください。                       いいえ → (2)を回答してください。

(2) 本国を出国する際、それらの文書を所持していましたか。

はい → (3)及び4-2を回答してください。  いいえ

(3) 出国のときにそれらの文書を所持していた場合、その後、それらの文書はどのようなになったのですか。

4-2

現に旅券その他の旅券文書を所持している場合又は出国時に所持していた場合、それらの文書はどのようにして入手したのですか。

5

(1) 日本に到着する以前に他の国に居住していたことがありますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合、次の事項を記入してください。

滞在期間	国名	滞在場所	滞在目的
(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD)			
~			
~			
~			
~			

(2) どのような理由で居住していた国を離れて日本に来ることにしたのですか。

6

日本に到着する前に他の国に庇護を求めたことはありますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合、その国の名前及びその結果はどうでしたか。

その2

1 あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

(1) 誰から

- 国家機関 (名称等 )
- 上記以外 (名称等 )

(2) どのようなことをされるおそれがありますか。(具体的に書いてください。)

(3) そのおそれを感じたのはいつからですか。

2 上記1のおそれがある理由は次のどれですか。

次のうちに該当する理由がない場合やこれ以外にも理由がある場合には、(理由)の箇所に書いてください。

- 人種       宗教       国籍       特定の社会的集団の構成員であること
- 政治的意見

(理由)

3 上記1のおそれがあると考えられる根拠となる全ての事実を書いてください。

(注1) 記載に当たっては、誰が、いつ、どこで、誰から、どのようなことをされたのか、なぜそのようなことをされたのか(理由)がわかるように、具体的に書いてください。

(注2) 特に、身体の拘束や暴力を受けたことがある場合や、逮捕されたことがある場合にはそれらについても具体的に書いてください。

4 あなたは、今回の一時庇護のための上陸許可に関する申告に関連するものとして、何らかの組織に属したり、支持（支援）したりしていましたか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

期 間	組 織 名	役 職	活 動 内 容

5 あなたは、今回の一時庇護のための上陸許可に関する申告に関連するものとして、政治的意見を表明したり、行動をとったことがありますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

6 上記2の理由により、あなたの家族の身に何かが起こったことはありますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

7 あなたは、上記1から6までに記載した内容を裏付ける資料を提出することができますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

資 料 名	内 容	提 出 理 由	提 出 予 定 時 期

8 その他、特別の事情がありますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

以上の記載は、事実と相違ありません。

申請者（代理人）の署名 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

指 定 書

氏 名

国籍・地域

出入国管理及び難民認定法別表第1の2の表の高度専門職の項の下欄第1号の規定に基づき、同号に定める活動を行うことのできる本邦の公私の機関を次のとおり指定します。

日 本 国 法 務 大 臣

指 定 書

氏 名

国籍・地域

出入国管理及び難民認定法別表第1の2の表の特定技能の項の下欄第号の規定に基づき、同号に定める活動を行うことのできる本邦の公私の機関及び特定産業分野を次のとおり指定します。

日 本 国 法 務 大 臣

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列5番又はA列6番とする。

在留資格証明書

1 氏名

男女

2 生年月日

年 月 日

3 国籍・地域

日本国法務省

(1)

官用欄

(2)

官用欄

(3)

官用欄

注 意

- 1 本証明書は、在留資格関係申請をする場合に提示して下さい。
- 2 本証明書は、旅券に代わる証明書ではありません。

(4)

別記第三十七号様式（第二十四条、第五十六条、第五十六条の三関係）

在留資格取得許可 ACQUISITION PERMIT	
在留期限 U n t i l .....	
在留資格 Status	在留期間 Period
許可番号 .....	許可年月日 .....
※	

- (注) 1 ※には在留資格の取得を許可する者の職名を記入するものとする。  
2 縦45ミリメートル、横55ミリメートルとする。

別記第三十七号の二様式（第二十四条、第五十六条、第五十六条の三関係）

<p>在留資格取得許可 ACQUISITION PERMIT</p>
在留資格 Status:
在留期間 Period:
在留期限 Until:
許可番号
許可年月日
※

(注)

- 1 ※には在留資格の取得を許可する者の職名を記入するものとする。
- 2 縦32ミリメートル、横36ミリメートルとする。
- 3 証印の下部に識別符号を付すものとする。

## 臨検搜索差押許可状請求書

容 疑 者 の 氏 名	
適 用 法 条 及 び 容 疑 事 実 の 要 旨	
臨検すべき物件若しくは 場 所 又 は 搜 索 す べ き 身 体 、 物 件 若 し く は 場 所	
差し押さえるべき物件	
差し押さえるべき電子計算 機に電気通信回線で接続し ている記録媒体であって、 その電磁的記録を複写すべ きものの範囲	
日出前、日没後に行う必 要があるときは、その旨 及び事由	
7日を超える有効期間を 必要とするときは、その 期間及び事由	

上記許可状の発付を請求する。

年 月 日

裁判所 裁判官 殿

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

# 記録命令付差押許可状請求書

容 疑 者 の 氏 名	
適 用 法 条 及 び 容 疑 事 実 の 要 旨	
記 録 さ せ 又 は 印 刷 さ せ る べ き 電 磁 的 記 録	
電 磁 的 記 録 を 記 録 さ せ 又 は 印 刷 さ せ る べ き 者	
日 出 前、日 没 後 に 行 う 必 要 が あ る と き は、そ の 旨 及 び 事 由	
7 日 を 超 え る 有 効 期 間 を 必 要 と す る と き は、そ の 期 間 及 び 事 由	

上記許可状の発付を請求する。

年 月 日

裁判所 裁判官 殿

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

別記第四十六号の二様式（第三十二条の二関係）

年 月 日

殿

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

捜 索 証 明 書

容疑者

に対する

出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件につき、

年 月 日

におい

て、本職が行った捜索については、証拠物がなかったことを証明します。





別記第四十八号様式（第三十三条の二関係）

# 鑑定処分許可状請求書

容 疑 者 の 氏 名	
適 用 法 条 及 び 容 疑 事 実 の 要 旨	
鑑 定 人 の 氏 名 及 び 職 業	
鑑 定 を 嘱 託 し た 年 月 日	
鑑 定 嘱 託 事 項	
破 壊 す べ き 物	
7日を超える有効期間を 必要とするときは、その 期間及び事由	

上記許可状の発付を請求する。

年 月 日

裁判所 裁判官 殿

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

別記第四十九様式（甲）（第三十四条関係）

## 臨検搜索差押調書

年 月 日

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

下記容疑者に対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件につき、本職は、  
とおり臨検・搜索・差押えをした。 を立会させて下記の

立会人

居住地

氏 名

印

年 月 日生

容疑者の氏名			
許可状の発付官	裁判官	裁判所	許可状の 発付年月日
許可状を示された者			
臨検の日時	年 月 日	時 分から	時 分まで
搜索の日時	年 月 日	時 分から	時 分まで
差押えの日時	年 月 日	時 分から	時 分まで
臨検の物件 又は場所			
搜索の身体、 物件又は場所			

差押えの場所	
臨検及び捜索の 経過及び結果	
差押えをした物	
差押えをした物の措置	

別記第四十九号様式（乙）（第三十四条関係）

## 記録命令付差押調書

年 月 日

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国警備官

印

下記容疑者に対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件につき、本職は、  
 おり記録命令付差押えをした。 を立会させて下記のと

立会人

居住地

氏 名

印

年 月 日生

容 疑 者 の 氏 名			
許 可 状 の 発 付 官	裁判官	裁判所	許可状の 発付年月日
			年 月 日
許 可 状 を 示 さ れ た 者			
記 録 命 令 付 差 押 え の 日 時	年 月 日 時 分から 時 分まで		
記 録 命 令 付 差 押 え の 場 所			
記 録 さ せ 又 は 印 刷 さ せ た 電 磁 的 記 録			
電 磁 的 記 録 を 記 録 さ せ 又 は 印 刷 さ せ た 者			
記 録 命 令 付 差 押 え の 経 過 及 び 結 果			

別記第五十号様式（第三十五条関係）

（表）

日本国政府法務省	番 号 年 月 日
収 容 令 書	
1 氏 名 _____	男 女
2 生年月日 _____	年 月 日
3 国 籍 _____	
4 居 住 地 _____	
5 職 業 _____	
上記の者を出入国管理及び難民認定法第39条の2又は第44条の4第6項若しくは第7項の規定に基づき、下記により収容する。	
容 疑 事 実 の 要 旨	
収 容 す べ き 場 所	
収 容 期 間	日
有 効 期 限	年 月 日 まで
出入国在留管理庁 出入国在留管理局主任審査官 印	
収 容 期 限	年 月 日 まで
提 示	年 月 日 入国警備官 印

(裏)

収容期間の延長			
延長期間	自 年 月 日 ( 日)	理由	
	至 年 月 日		年 月 日 印
出入国在留管理庁	出入国在留管理局主任審査官		印
提 示	年 月 日	入国警備官	印
収容場所の変更			
収容すべき場所	年 月 日	年 月 日	
	出入国在留管理庁 出入国在留管理局 主任審査官 印	出入国在留管理庁 出入国在留管理局 主任審査官 印	
提示及び執行	年 月 日 時 分	年 月 日 時 分	
	入国警備官 印	入国警備官 印	
執行経過			
執行の開始		出 所	
年月日時	年 月 日 時 分	年月日	年 月 日
執行場所		理 由	・監理措置 ・仮放免 ・在留特別許可 ・その他 ( )
執行者	入国警備官 印	収容期間 残日数	日 印
		取扱者	入国警備官 印
年月日時	年 月 日 時 分	年月日	年 月 日
執行場所		理 由	・監理措置 ・仮放免 ・在留特別許可 ・その他 ( )
収容期間 満了日	年 月 日	収容期間 残日数	日 印
執行者	入国警備官 印	取扱者	入国警備官 印
執行の 終了	年 月 日	年 月 日	
	理 由		取扱者 入国警備官 印
備 考			

別記第五十一号様式（第三十六条関係）

留 置 嘱 託 書

第 号  
年 月 日

警察署長 殿

出入国在留管理庁 出入国在留管理局

主任審査官 印

国籍・地域

居 住 地

職 業

氏 名

(通称 ) (男・女)

年 月 日生 ( 歳)

上記の者に対する 令書の執行に関し、下記の  
とおり留置を嘱託する。

記

1 留置嘱託の事由

自 年 月 日

2 留置嘱託の期間 日間

至 年 月 日

別記第五十一号の二様式（第三十六条の二、第四十八条、第四十九条関係）

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

呼 出 状

出入国管理及び難民認定法第 条第 項の規定により、

年 月 日 時 分 に

あなたの出頭を求めます。出頭の際は本状を持参してください。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

出入国在留管理庁 入国者収容所

出入国在留管理局 支局 主任審査官

（注）用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

日本国政府法務省

### 監理措置決定申請書

出入国在留管理庁  
出入国在留管理局 支局 主任審査官 殿

出入国管理及び難民認定法第44条の2第4項又は第52条の2第4項の規定に基づき、次のとおり申請します。

1 監理措置決定を希望する外国人

(1) 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

(2) 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(3) 国籍・地域 \_\_\_\_\_

2 代理人（上記1以外の者が申請する場合に記入）

(1) 代理人の氏名 \_\_\_\_\_ 男  
女

(2) 代理人の生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(3) 代理人の国籍・地域 \_\_\_\_\_

(4) 代理人の住居地 \_\_\_\_\_

(5) 代理人の連絡先 \_\_\_\_\_

(6) 上記1の者との関係 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(裏)

3 選定を希望する監理人（監理人が個人である場合に記入）

(1) 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

(2) 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(3) 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

(4) 住 居 地 \_\_\_\_\_

(5) 連 絡 先 \_\_\_\_\_

(6) 前記1の者との関係 \_\_\_\_\_

4 選定を希望する監理人（監理人が法人である場合に記入）

(1) 名 称 \_\_\_\_\_

(2) 本店又は主たる事務所の所在地  
\_\_\_\_\_

(3) 代表者の氏名 \_\_\_\_\_

(4) 連 絡 先 \_\_\_\_\_

(5) 前記1の者との関係 \_\_\_\_\_

5 監理措置決定を希望する理由

以上の記載内容は事実と相違ありません  
申請人（代理人）の署名／申請年月日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(注) 申請書の提出は地方出入国在留管理官署に出頭して行わなければなりません。

## 注意事項

ア 住居を変更するときや行動範囲外に赴く必要があるときは、あらかじめ主任審査官の承認を受けなければなりません。

イ 監理措置の条件に違反したときは、監理措置決定が取り消され保証金の全部又は一部が没取される場合があります。

なお、正当な理由がなく呼出しに応じないとき、逃亡したとき、報酬を受ける活動の許可を受けずに同活動（在留資格をもって在留する者による活動を除く。）を行ったとき又は収入を伴う事業を運営する活動を行ったときは、処罰される場合があります。

ウ 法第44の5第1項の規定により指定された機関以外で報酬を受ける活動を行ったときや許可に付された条件に違反したときは、報酬を受ける活動の許可が取り消されることがあります。

エ 退去強制令書の発付後は、収入を伴う事業を運営する活動や報酬を受ける活動に従事することはできません。

オ 本通知書は常に携帯し、権限ある官憲に要求されたときは、これを提示しなければなりません。  
また、出頭の際は、本通知書を持参してください。

日本国政府 法務省

## 監理措置決定通知書



監理措置決定番号

発行年月日

発行官署

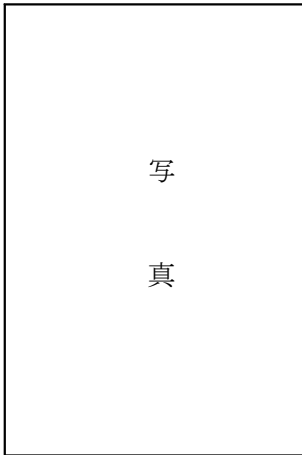
出入国在留管理庁

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列5番とする。

殿

出入国管理及び難民認定法第 条第 項の規定により、  
あなたを監理措置に付する旨の決定をしたので、通知します。

- 1 氏 名 男女  
-----
- 2 生年月日  
-----
- 3 国籍・地域  
-----
- 4 決定日  
-----



※

印

監理措置の条件

- 1 住 居  
-----
- 2 行動範囲  
-----
- 3 出頭を命じられたときは、指定された日時及び場所に出頭しなければなりません。
- 4 逃亡及び 証拠の隠滅を防止する／不法就労活動を防止する ために必要な条件

報酬を受ける活動の有無及び条件 有 (許可番号: 号・許可年月日: ) 無

(1) 勤務先の名称及び所在地

名 称

所在地

(2) 活 動 の 内 容

(3) 報酬額 (月額)

(4) その他の条件

※

印

(注) ※にはそれぞれ、許可する者の職名を記入するものとする。

別記第五十一号の五様式（第三十六条の二関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

通 知 書

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

あなたから申請のあった監理措置決定申請（ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日付け）については、監理措置決定をしないこととしたので、通知します。

監 理 措 置 決 定 を し な い 理 由

\_\_\_\_\_

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

主任審査官 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第五十一号の六様式（第三十六条の六関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

監 理 措 置 決 定 取 消 書

出入国管理及び難民認定法第 条第 項の規定に基づき、下記の理由により、監理措置決定を取り消す。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 住 居 \_\_\_\_\_

監 理 措 置 決 定 を 取 り 消 す 理 由

\_\_\_\_\_

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

主任審査官

\_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第五十一号の七様式（第三十六条の六関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

保 証 金 没 取 通 知 書

保証金納付者

\_\_\_\_\_ 殿

出入国管理及び難民認定法第 \_\_\_\_\_ 条第 \_\_\_\_\_ 項の規定により下記の者の監理措置決定を

取り消したことに伴い、同条第 \_\_\_\_\_ 項の規定に基づき保証金の \_\_\_\_\_ 全部 \_\_\_\_\_ 金 \_\_\_\_\_ 円を没  
一部

取したので、通知します。

記

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

出入国在留管理庁 \_\_\_\_\_ 出入国在留管理局 \_\_\_\_\_ 支局

主任審査官 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第五十一号の八様式（第三十六条の七関係）

日本国政府法務省

(表)

番 号

報酬を受ける活動の許可申請書

出入国在留管理庁 出入国在留管理局 支局 主任審査官 殿

出入国管理及び難民認定法第44条の5第1項の規定により、監理人の同意の上、次のとおり申請します。

1 被監理者身分事項等

(1) 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

(2) 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ (3) 国籍・地域 \_\_\_\_\_

2 活動内容（労働条件を明示する書類を添付すること）

(1) 勤務先の名称 \_\_\_\_\_

(2) 勤務先の所在地 \_\_\_\_\_

(3) 勤務先の電話番号 \_\_\_\_\_

(4) 職務の内容 \_\_\_\_\_

(5) 報酬額（月額） \_\_\_\_\_

3 日本で同居している者  有  無

※「有」の場合は、以下の欄に記入すること。

(1) ①続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

③生年月日 \_\_\_\_\_ ④国籍・地域 \_\_\_\_\_ ⑤職業 \_\_\_\_\_

(2) ①続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

④生年月日 \_\_\_\_\_ ④国籍・地域 \_\_\_\_\_ ⑤職業 \_\_\_\_\_

4 現在の所持金（預金額を含む）

(1) 日本円 \_\_\_\_\_ (2) 日本円以外の外国通貨 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(裏)

5 住居の賃貸借契約の締結の有無  有  無

※「有」の場合は、以下の欄に記入し、賃貸借契約書の写しを添付すること。

(1) 賃貸人の氏名・名称 \_\_\_\_\_

(2) 賃貸借契約期間 \_\_\_\_\_

(3) 賃料 \_\_\_\_\_

6 各種機関・団体・監理人等からの金銭援助の有無  有  無

※「有」の場合は、以下の欄に記入し、援助額等が確認できる資料を提出すること。

(1) 氏名・名称 \_\_\_\_\_

(2) 援助の内容 \_\_\_\_\_

7 申請の理由

以上の記載内容は事実と相違ありません  
申請人（代理人）の署名／申請年月日

\_\_\_\_\_年 月 日

(注1) 申請書の提出は地方出入国在留管理官署に出頭して行わなければなりません。

(注2) 申請書の各項目は全て記載してください。また、記載欄が足りない場合は、別紙を提出してください。

※ 監理人記載欄

被監理者が上記の申請をすることに同意し、被監理者が報酬を受ける活動の許可を受けた場合は、当該活動について私（監理人）が監理することを誓約します。

監理人の署名／署名年月日

\_\_\_\_\_年 月 日

別記第五十一号の九様式（第三十六条の七関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

報酬を受ける活動の許可取消通知書

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 住 居 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第44条の5第4項の規定に基づき、 \_\_\_\_\_ 年  
月 \_\_\_\_\_ 日付けあなたに対する報酬を受ける活動の許可（許可番号：  
\_\_\_\_\_）を下記の理由により取り消したので、通知します。

取消しの理由

\_\_\_\_\_

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

主任審査官

\_\_\_\_\_

備考 この通知を受け次第、速やかに監理措置決定通知書を携行して \_\_\_\_\_ 出入国在留管理局  
支局に出頭してください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号  
年 月 日

## 認 定 書

氏 名 (男・女)  
生 年 月 日 年 月 日 ( 歳)  
国籍・地域  
居 住 地  
職 業

上記の者に対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件に関し、 年 月 日  
において審査を行った結果、下記のとおり認定する。

### 認 定 要 旨

1 事実の認定

2 証 拠

3 参考事項

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

入国審査官

日本国政府法務省

番 号

年月日

## 認 定 通 知 書

殿

あなたに対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件に関し、審査を行った結果、下記のとおり認定したので、通知します。

### 認 定 要 旨

- (1) 上記の認定に不服があるときは、この通知を受けた日から3日以内に特別審理官に対し口頭審理の請求をすることができます。
- (2) 本邦への在留を希望する場合には、法務大臣に対し在留特別許可の申請をすることができます。
- (3) 上記の認定に服した日から3日以内に、在留特別許可の申請をしなかった場合は、退去強制令書が発付されます。
- (4) 退去強制令書が発付された後は、在留特別許可の申請をすることができません。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

入国審査官

別記第五十四号の二様式（第三十七条関係）

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

在 留 特 別 許 可 申 請 放 棄 書

出入国在留管理庁 出入国在留管理局

主任審査官 殿

私は、出入国管理及び難民認定法第50条第1項の規定による許可の申請をしません。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 居住地 \_\_\_\_\_

署 名

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

放 免 証 明 書

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 居 住 地 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第 \_\_\_\_\_ 条第 \_\_\_\_\_ 項の規定により、下記のとおり放  
免したことを証明します。

(1) 放免した日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(2) 放免理由

\_\_\_\_\_  
出入国在留管理庁 出入国在留管理局

主任審査官

特別審理官

入国審査官  
\_\_\_\_\_

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

口 頭 審 理 期 日 通 知 書

殿

1 氏 名

男  
女

2 生 年 月 日

年

月

日

3 国 籍 ・ 地 域

4 居 住 地

あなたに対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件に関し、下記のとおり口頭審理を行うので、通知します。

(1) 口頭審理期日

年

月

日

(2) 場 所

出入国在留管理局

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

特別審理官

備 考

ア 口頭審理には、特別審理官の許可を受けて、親族又は知人の一人を立ち会わせることができます。

イ 口頭審理において、あなた又はあなたの代理人は、証拠を提出し、及び証人を尋問することができます。

ウ 監理措置中又は仮放免中で正当な理由がなく出頭しないものは、それらの決定又は許可を取り消すことがあります。

番号  
年月日

## 判定書

氏名 (男・女)

生年月日 年 月 日 ( 歳)

国籍・地域

居住地

職業

上記の者は、 年 月 日口頭審理の請

求をしたので、 年 月 日

において

立ち会いの上口頭審理を行った結果、下記のとおり判定する。

### 判定要旨

1 事実の認定

2 証拠

3 適用法条

出入国在留管理庁 出入国在留管理局

支局 出張所

特別審理官

番 号  
年 月 日

日本国政府法務省

判 定 通 知 書

殿

- 1 氏 名 男  
女  
\_\_\_\_\_
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 居住地 \_\_\_\_\_

あなたに対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件に関し、口頭審理を行った結果下記のとおり判定したので、通知します。

判 定 要 旨

- (1) 上記の判定に不服があるときは、この通知を受けた日から3日以内に、法務大臣に対し異議を申し出ることができます。
- (2) 本邦への在留を希望する場合には、法務大臣に対し在留特別許可の申請をすることができます。
- (3) 上記の判定に服した日から3日以内に、在留特別許可の申請をしなかった場合は、退去強制令書が発付されます。
- (4) 退去強制令書が発付された後は、在留特別許可の申請をすることができません。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

特別審理官 \_\_\_\_\_

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

裁 決 書

氏 名 ( 男・女 )

生 年 月 日 年 月 日 ( 歳 )

国籍・地域

居 住 地

職 業

上記の者の出入国管理及び難民認定法第49条第1項の規定による異議の申出に対し、同条第3項の規定により次のとおり裁決する。

- 1 主文
- 2 退去強制対象者に該当する理由

※

(注) 1 ※には裁決を行った者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

日本国政府法務省

番 号

年月日

裁 決 通 知 書

殿

1 国籍・地域 \_\_\_\_\_

2 氏 名 \_\_\_\_\_ (男・女)

3 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( 歳)

4 居 住 地 \_\_\_\_\_

あなたからの異議の申出については、\_\_\_\_\_から理由がないと裁  
決した旨の通知を受けましたので、通知します。

- (1) 本邦への在留を希望する場合には、法務大臣に対し在留特別許可の申請を  
することができます。
- (2) この通知を受けた日から3日以内に、在留特別許可の申請をしなかった場合  
は、退去強制令書が発付されます。
- (3) 退去強制令書が発付された後は、在留特別許可の申請をすることができませ  
ん。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

支局

出張所

主任審査官 \_\_\_\_\_

別記第六十一号の三様式（第四十四条関係）

日本国政府法務省	番 号 年月日
<b>決 定 書</b>	
1 氏 名	_____ 男 女
2 生 年 月 日	_____ 年 月 日
3 国 籍 ・ 地 域	_____
4 在 留 特 別 許 可 申 請 番 号	_____
<p>上記の者の出入国管理及び難民認定法第50条第2項の規定による在留特別許可の申請に対し、第50条第1項の規定により、次のとおり決定する。</p>	
決定内容	
理由	
_____ ※	

(注) 1 ※には決定を行った者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第六十一号の四様式（第四十四条関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

在 留 特 別 許 可 申 請 書

法 務 大 臣 殿

私は、出入国管理及び難民認定法第50条第2項の規定により、在留特別許可の申請をします。

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 居住地 \_\_\_\_\_

申請の理由

申請人（代理人）の署名

\_\_\_\_\_

別記第六十二号の三様式（第四十四条関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

通 知 書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_
- 4 居 住 地 \_\_\_\_\_
- 5 在留特別許可申請番号 \_\_\_\_\_

年 月 日付けあなたからの在留特別許可の申請は、下記の理由により在留特別許可をしないこととしたので、通知します。

理 由

年 月 日

※

- (注) 1 ※には決定を行った者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

送 還 通 知 書

殿

年 月 日下記理由により退去強制令書を発付した下記の者について、  
貴社（あなた）は出入国管理及び難民認定法第59条の規定により貴社（あなた）の責  
任と費用により本邦外に送還する義務があるので、通知します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 退去強制の理由 \_\_\_\_\_

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

主任審査官 \_\_\_\_\_

別記第六十四号の二様式（第四十七条の二関係）

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

送 還 先 指 定 書

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女
- 2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国 籍・地 域 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第52条第4項後段の規定により、送還先を次のとおり定めます。

送 還 先 \_\_\_\_\_

出入国在留管理庁

入国者収容所長

出入国在留管理局

支局

出張所 主任審査官

\_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第六十四号の三様式（第四十七条の三関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

上陸拒否期間短縮申請書

法 務 大 臣 殿

出入国管理及び難民認定法第52条第5項の規定に基づき、退去を強制されたことを理由として上陸を拒否される期間を1年とする旨の決定を申請します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 自費出国許可年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

5 出国予定年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

申 請 人 \_\_\_\_\_ 署 名

別記第六十四号の四様式（第四十七条の三関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

通 知 書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 居住地 \_\_\_\_\_

あなたからの出入国管理及び難民認定法第52条第5項の規定による上陸を拒否される期間を1年とする旨の決定の申請に対し、下記退去の期限までに同条第4項の規定による許可に基づいて自ら本邦を退去する場合に限り、退去後の本邦への上陸について、同法別表第一の三の表の短期滞在の項の下欄に掲げる活動を行おうとする場合を除き、退去を強制されたことを理由として上陸を拒否される期間を1年とすることを決定したので、通知します。

記

退去の期限 \_\_\_\_\_ 年 月 日

年 月 日

※

備考 この通知書は、退去後の本邦への上陸許可申請の際に持参してください。

(注) 1 ※には決定を行った者の職名を記入するものとする。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番又はA列5番とする。

（表）

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

特 別 放 免 許 可 書

出入国管理及び難民認定法第52条第10項  
の規定により放免します。

写

真

1 氏 名

男  
女

2 生 年 月 日

年

月

日

3 国籍・地域

4 住 居

5 特別放免の条件：裏面に記載のとおり。

出入国在留管理庁

入国者収容所長

出入国在留管理局主任審査官

(裏)

## 特別放免の条件

(1) 住 居

---

(2) 行動範囲

---

(3) 出頭を命じられたときは、指定された日時及び場所に出頭しなければなりません。

(4) その他

---

## 注 意

ア 住居を変更するときは、あらかじめ入国者収容所長又は主任審査官の承認を受けなければなりません。

イ 旅行等の理由により行動範囲外に赴く必要があるときは、あらかじめ入国者収容所長又は主任審査官の承認を受けなければなりません。

ウ 上記の条件に違反したときは、本許可を取り消すことがあります。

エ 本許可書は常に携帯し、権限ある官憲に要求された場合には、提示しなければなりません。また、出頭の際は、本許可書を持参してください。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

## 旅券発給申請等命令書

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( 歳)
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 退去強制の理由 \_\_\_\_\_

上記の者に対し、出入国管理及び難民認定法第52条第12項の規定に基づき、下記のとおり命じる。

(1) 行うべき期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

(2) 行うべき行為

出入国在留管理庁 出入国在留管理局  
主任審査官

印

### 注 意

ア 本書に記載された行為を期間内に行わないときは、処罰されることがあります。

イ 本書を紛失等した場合には、速やかに発付された出入国在留管理官署に連絡し、再発行を受けてください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

## 旅券発給申請等命令の期間延長通知書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( 歳)
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 退去強制の理由 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第52条第13項の規定により、あなたに対し 年 月 日  
付け旅券発給申請等命令書により命じた行為を行うべき期間を延長したので、通知します。

(1) 延長後の期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

(2) 延長前の期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

出入国在留管理庁 出入国在留管理局  
主任審査官

印

### 注 意

- ア あなたに対し 年 月 日付け旅券発給申請等命令書により命じた行為を延長後  
の期間内に行わないときは、処罰されることがあります。
- イ 本書を紛失等した場合には、速やかに発付された出入国在留管理官署に連絡し、再発行  
を受けてください。

別記第六十六号様式（第四十九条関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

仮放免許可申請書

出入国在留管理庁

入国者収容所長 殿

出入国在留管理局

支局主任審査官 殿

出入国管理及び難民認定法第54条第1項の規定により、下記の者の仮放免の許可を申請します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 申請の理由 健康上の理由 人道上の理由 その他これらに準ずる理由

（ 理由の詳細 \_\_\_\_\_ ）

(1) 申請人の氏名 \_\_\_\_\_ 男  
女

(2) 申請人の生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

(3) 申請人の国籍・地域 \_\_\_\_\_

(4) 申請人の住居地 \_\_\_\_\_

(5) 本人との関係 \_\_\_\_\_

申請人の署名 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第六十七号様式 (第四十九条関係)

日本国政府法務省

仮 放 免 許 可 書



仮放免許可番号 \_\_\_\_\_

許可年月日 \_\_\_\_\_

発行官署 \_\_\_\_\_

(注)用紙の大きさは、日本産業規格A列5番とする。

出入国管理及び難民認定法第54条第2項の規定により、  
仮放免します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男・女

2 生年月日 \_\_\_\_\_

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

写  
真

※

印

(※) には、許可する者の職名を記入するものとする。

### 仮放免の条件

1 住 居 \_\_\_\_\_

2 行動範囲 \_\_\_\_\_

3 出頭を命じられたときは、指定された日時及び場所に出頭しなければなりません。

4 その他 \_\_\_\_\_

### 仮放免期間

期 間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日 午 時 まで

### 注意事項

ア 住居を変更するときや行動範囲外に赴く必要があるときは、あらかじめ入国者収容所長又は主任審査官の承認を受けなければなりません。

イ 逃亡し、逃亡すると疑うに足りる相当の理由があり、正当な理由がなくて呼出しに応ぜず、その他仮放免に付された条件に違反した場合には仮放免を取り消されることがあります。

ウ 仮放免に付された条件に違反して、逃亡し、又は正当な理由がなくて呼出しに応じない場合には処罰されることがあります。

エ 本許可書は常に携帯し、権限ある官憲に要求された場合には、これを提示しなければなりません。また、出頭の際は、本許可書を持参してください。

別記第六十八号様式（第四十九条関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

仮放免不許可通知書

殿

1 氏 名

男  
女

2 生年月日

年 月 日

3 国籍・地域

年 月 日付け上記の者の仮放免許可申請については、下記の理由

により仮放免許可をしないこととしたので、通知します。

不 許 可 理 由

出入国在留管理庁

入国者収容所長

出入国在留管理局

支局 主任審査官

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

### 仮放免期間延長許可申請書

出入国在留管理庁 入国者収容所長 殿

出入国在留管理局 支局 主任審査官 殿

出入国管理及び難民認定法第54条第5項の規定により、下記の者の仮放免の期間の延長を申請します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男・女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 申請の理由 \_\_\_\_\_

(1) 申請人の氏名 \_\_\_\_\_ 男・女

(2) 申請人の生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

(3) 申請人の国籍・地域 \_\_\_\_\_

(4) 申請人の住居地 \_\_\_\_\_

(5) 申請人との関係 \_\_\_\_\_

申請人の署名 \_\_\_\_\_

別記第六十九号の二様式（第四十九条関係）

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

仮放免期間延長不許可通知書

殿

1 氏 名

男  
女

2 生年月日

年 月 日

3 国籍・地域

年 月 日付け上記の者の仮放免許可申請については、下記の理由

により仮放免期間の延長の許可をしないこととしたので、通知します。

不 許 可 理 由

出入国在留管理庁

入国者收容所長

出入国在留管理局

支局 主任審査官

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

仮 放 免 取 消 書

出入国管理及び難民認定法第55条第1項の規定に基づき、下記の理由により、仮放免  
を取り消す。

1 氏 名 男  
女  
\_\_\_\_\_

2 生年月日 年 月 日  
\_\_\_\_\_

3 国籍・地域  
\_\_\_\_\_

4 住居地  
\_\_\_\_\_

取 消 理 由

出入国在留管理庁

入国者収容所長

出入国在留管理局

支局 主任審査官

\_\_\_\_\_

別記第七十号の二様式（第五十条の二関係）

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

退去の命令書

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( 歳 )
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 退去強制の理由 \_\_\_\_\_

上記の者に対し、出入国管理及び難民認定法第55条の2の規定に基づき、下記の期間内に本邦からの退去を命じる。

(1) 退去すべき期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

(2) 退去を命ずる理由 \_\_\_\_\_

出入国在留管理庁 出入国在留管理局  
主任審査官

印

注 意

- ア 本書に記載された期間内に本邦から退去しないときは、処罰されることがあります。  
イ 本書を紛失等した場合には、速やかに発付された出入国在留管理官署に連絡し、再発行を受けてください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

## 退去の命令の期間延長通知書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( 歳)
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 退去強制の理由 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第55条の2第4項の規定により、あなたに対し 年 月  
日付け退去の命令書により命じた本邦から退去すべき期間を延長したので、通知します。

- (1) 延長後の期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで
- (2) 延長前の期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

出入国在留管理庁 出入国在留管理局  
主任審査官

印

### 注 意

- ア 本書に記載された延長後の期間内に本邦から退去しないときは、処罰されることがあります。
- イ 本書を紛失等した場合には、速やかに発付された出入国在留管理官署に連絡し、再発行を受けてください。

(表)

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

出 頭 確 認 書

殿

男

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 女

2 生年月日（年齢） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ \_\_\_\_\_ 歳）

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

あなたが \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日午前/午後 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分に \_\_\_\_\_  
に出頭したことを確認しました。

出国命令を受けようとする場合には、裏面に記載された注意事項を守ってください。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

\_\_\_\_\_ 官 職 \_\_\_\_\_

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(裏)

注 意

- ア 常に本状を携帯するとともに、本状を持参の上、下記の出頭日時及び出頭場所に出頭してください。
- イ 下記の出頭日時及び出頭場所に正当な理由なく出頭しない場合には、出国命令を受けることはできません。
- ウ 本状は本邦での在留を認めるものではなく、本状を所持していても不法滞在状態にあることに変わりはありません。
- エ 本状を他人に譲渡・供与してはいけません。
- オ 本状を破損・紛失した際は、出入国在留管理官署に届け出てください。

次回以降出頭日時及び出頭場所

第2回	指示印	確認印
出頭日時                      年        月        日午前/午後        時        分		
-----		
出頭場所		
第3回	指示印	確認印
出頭日時                      年        月        日午前/午後        時        分		
-----		
出頭場所		
第4回	指示印	確認印
出頭日時                      年        月        日午前/午後        時        分		
-----		
出頭場所		
第5回	指示印	確認印
出頭日時                      年        月        日午前/午後        時        分		
-----		
出頭場所		

備考

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

## 出国意思確認書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日（年齢） \_\_\_\_\_ 年 月 日 （ 歳）
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 住 居 地 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_年 月 日午前／午後 \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分にあなたが速やかに本邦から出国する  
意思がある旨を表明したことを確認しました。

出国命令を受けようとする場合には、下欄に記載された注意事項を守ってください。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

\_\_\_\_\_   
官 職

### 注 意

- ア 常に本状を携帯してください。
- イ 本状は本邦での在留を認めるものではなく、本状を所持していても不法滞在状態にある  
ことに変わりはありません。
- ウ 本状を他人に譲渡・供与してはいけません。
- エ 本状を破損・紛失した際は、出入国在留管理官署に届け出てください。

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(表)

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

出 国 命 令 書

男

女

1 氏 名 \_\_\_\_\_

2 生年月日（年齢） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 （ \_\_\_\_\_ 歳）

3 国 籍 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

上記の者に対し、出入国管理及び難民認定法第55条の85の規定に基づき、下記により本邦外に出国を命じる。

(1) 出国期限 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(2) 出国命令の理由  
出入国管理及び難民認定法第24条の3各号に該当（同法第24条\_\_号\_\_に該当）

(3) 出国命令の条件：裏面に記載のとおり。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

主任審査官

印

(裏)

出 国 命 令 の 条 件

(1) 住居 \_\_\_\_\_

(2) 行動範囲 \_\_\_\_\_ 及び \_\_\_\_\_ 港までの順路による通過経路

(3) 呼出しを受けたときは、指定された日時及び場所に出頭しなければなりません。

(4) 本邦において収入を伴う事業を運営する活動又は報酬を受ける活動その他出国の手續に必要な活動以外の活動に従事することはできません。

(5) その他

注 意

ア 住居及び出国しようとする出入国港を変更するときは、あらかじめ主任審査官の承認を受けなければなりません。

イ 上記の条件に違反したときは、本命令を取り消すことがあります。

ウ 出国命令に係る出国期限を経過して本邦に残留した場合、出国命令を取り消されたにもかかわらず本邦に残留した場合又は出国命令の条件に違反して逃亡した場合には処罰されることがあります。

エ この命令書は常に携帯し、提示を求められたときは、提示しなければなりません。

オ 本邦を出国する場合には、出入国港においてこの命令書を入国審査官に提出しなければなりません。

出 国 期 限 の 延 長

延 長 期 限	自 年 月 日 ( 日 )	理 由	
	至 年 月 日		

年 月 日

出入国在留管理庁 出入国在留管理局  
主任審査官

印

備 考

別記第七十一号の四様式（第五十条の五十四関係）

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

出国期限延長申出書

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

主任審査官 殿

私は、下記の理由により、 年 月 日付け出国命令書に記載された出国期限内に  
出国することができませんので、出入国管理及び難民認定法第55条の87の規定により出国期限の  
延長を申し出ます。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 住居地 \_\_\_\_\_

出国期限内に出国することができない理由

申出人 \_\_\_\_\_

署 名

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番 号

年月日

日本国政府法務省

出 国 命 令 取 消 通 知 書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女
- 2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_
- 4 住 居 地 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第55条の88の規定に基づき、あなたに対する出国  
対する出国命令を下記の理由により取り消したので通知します。

理 由

ついては、あなたが所持する出国命令書を \_\_\_\_\_  
に返納しなければなりません。

出入国在留管理庁

出入国在留管理局

主任審査官 \_\_\_\_\_

別記第七十四号様式（第五十五条関係）

日本国政府法務省

難 民 ・ 補 完 的 保 護 対 象 者 認 定 申 請 書					
法 務 大 臣 殿					
<p>私は、</p> <p><input type="checkbox"/> ①難民認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第1項の申請）</p> <p><input type="checkbox"/> ②補完的保護対象者認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請）</p> <p>を行うものとして、本申請書を提出します。</p> <p>※上記のうち、<u>どちらか一つ</u>にチェックをしてください。</p> <p>①の申請をした場合には、難民の該当性及び補完的保護対象者の該当性について判断されます。</p> <p>②の申請をした場合には、補完的保護対象者の該当性のみが判断され、難民の該当性については判断されません。</p>					
氏 名				性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	(年)	(月)	(日)	現在の職業	
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）				出生地	
日本の住居地					
連絡先（電話番号）	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 本人以外				
	(本人以外の場合) 連絡先氏名				
	所持の有無	(ありの場合) 番号		所持の有無	(ありの場合) 名称
旅 券	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		その他の所持する身分証等	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
官 用 欄					

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

**【注意事項】**

以下の注意事項をよく読んだ上で質問に答えてください。  
 読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

- この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。
- 回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。
- この申請書に事実と反することを記載したり、虚偽の資料を提出した場合は、審査上不利を被ることがあります。

家族構成					
両親					
続柄	氏名	生年月日	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地	
父		(YY/MM/DD)			
母					
きょうだい（兄・姉・弟・妹）（計 人）（注）7人以上は別紙を提出してください。					
続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
①		(YY/MM/DD)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
②			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
③			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
④			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
⑤			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
⑥			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
配偶者、子（注）7人以上は別紙を提出してください。					
続柄	氏名	生年月日	性別	国籍・地域（又は常居所を有している国）	現在の居住地
①		(YY/MM/DD)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
②			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
③			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
④			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
⑤			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
⑥			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		

来日前の居住歴	居 住 期 間	居 住 地
	(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD)	
	~	
	~	
	~	

来日前の最終学歴	種 別	学校名	所在地	修了状況	卒業・中退年月日
	<input type="checkbox"/> 初等 <input type="checkbox"/> 中等 <input type="checkbox"/> 高等			<input type="checkbox"/> 卒業	(YY/MM/DD)
	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他 ( )			<input type="checkbox"/> 中退	

来日前の職歴	期 間 (年月日)	会社等名	所在地	役職、業務内容
	(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD)			
	~			
	~			

日本の出入国歴	出入国歴の有無		日本へ入国した日	日本から出国した日	来日理由
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	(YY/MM/DD)	(YY/MM/DD)	
海外渡航歴 (日本を除く)	渡航歴の有無		渡航先 (国名)	渡航期間	渡航理由
	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり		(YY/MM/DD) ~ (YY/MM/DD)	
				~	
				~	

民族・部族		宗教		宗派			
使用言語		読むこと		話すこと		書くこと	
母語		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可

1 あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

(1) 誰から

国家機関 (名称等 )

上記以外 (名称等 )

(2) どのようなことをされるおそれがありますか。(具体的に書いてください。)

(3) そのおそれを感じたのはいつからですか。

2 上記1のおそれがある理由は次のどれですか。

次のうちに該当する理由がない場合やこれ以外にも理由がある場合には、(理由)の箇所に書いてください。

(注) 補完的保護対象者認定申請(出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請)をした方は、(理由)の箇所のみ記載してください。(□にチェックをする必要はありません)

人種             宗教             国籍             特定の社会的集団の構成員であること

政治的意見

(理由)

3 上記1のおそれがあると考えた根拠となる全ての事実を書いてください。

(注1) 記載に当たっては、誰が、いつ、どこで、誰から、どのようなことをされたのか、なぜそのようなことをされたのか(理由)がわかるように、具体的に書いてください。

(注2) 特に、身体の拘束や暴力を受けたことがある場合や、逮捕されたことがある場合には、それらについても具体的に書いてください。

(注3) この欄が足りない場合には、次のページの継続用紙に書いてください。

次のページに続く

次のページは使用しない



4 上記2の理由により、あなたの家族の身に何かが起こったことはありますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、全ての事情について、具体的に書いてください。

氏名	続柄	時期・期間 (YY/MM/DD)	場所	誰から	どのような行為を受けたか

5 あなたは今回の難民・補完的保護対象者認定申請に関連するものとして、何らかの組織(日本国内を含む。)に属したり、支持(支援)したりしていませんか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

期間 (YY/MM/DD)	組織名	役職	活動内容

6 あなたは今回の難民・補完的保護対象者認定申請に関連するものとして、政治的意見を表明したり、行動をとったことがありますか。(来日後にとった行動を含む。)

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

7

(1) あなたは、これまでに、逮捕状を発付され、又は手配をされたことがありますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

年月日 (YY/MM/DD)	機関名	罪状	逮捕状の発付又は手配の事実を知った経緯

(2) あなたは、これまでに、逮捕や起訴をされたことがありますか。

はい                       いいえ

(3) あなたは、これまでに、有罪判決を受けたことがありますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合は、その刑事裁判の結果を具体的に書いてください。

年月日 (YY/MM/DD)	裁判所名	罪 名	判決内容

8 あなたは、これまでに日本以外の国や国連の機関（UNHCR）等に保護を求めたことがありますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

国・国連機関名	手続内容	結 果

9 あなたは、上記1から8までに記載した内容を裏付ける資料を提出することができますか。

はい                       いいえ

「はい」と答えた場合は、具体的に書いてください。

資料名	内 容	提出理由	提出予定時期

10 あなたが本国から脱出した日から日本に上陸するまでの経緯について具体的に書いてください。  
複数の国を経由した場合は、全て書いてください。

年月日 (YY/MM/DD)	出国港 (出発地)	年月日 (YY/MM/DD)	入国港 (到着地)

(1) 今回の日本への入国について該当するものにチェックをしてください。

直行                       第三国経由 → (2) を回答してください。

(2) 第三国経由の場合は、該当するものにチェックをしてください。

乗換え                       滞在

11 現在の健康状態はどうですか。

良好                       不良

(1) 具体的な病名・症状を記載してください。

(2) 通院や医師による治療を受けていますか。

はい                       いいえ

12 難民調査官がインタビューする場合、通訳は必要ですか。

はい → (1) 及び (2) を回答してください。

いいえ → (2) を回答してください。

(1) 通訳は何語を希望しますか。

\_\_\_\_\_ 語

(2) インタビューに関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。

(例：難民調査官や通訳人の性別、通訳人の国籍)

記載した内容に誤りがない場合には、以下にチェックをして入れてください。

申請書に記載した内容はすべて理解しており、誤りはありません。

本件申請書を代理人 (注) が記載した場合には、以下の項目について記載してください。

(注) 外国人が16歳を満たない者であるとき又は疾病その他の事由により自ら出頭できないときは、当該申請者の父、母、配偶者、子、又は親族が申請者に代わって申請することができます。

(記載・作成した人の氏名)

(申請者との関係)

申請者 (代理人) の署名 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

別記第七十四号の二様式（第五十五条関係）

日本国政府法務省

難 民 ・ 補 完 的 保 護 対 象 者 認 定 申 請 書（再申請用） 法 務 大 臣 殿					
私は、 <input type="checkbox"/> ①難民認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第1項の申請） <input type="checkbox"/> ②補完的保護対象者認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の申請） を行うものとして、本申請書を提出します。 ※上記のうち、 <u>どちらか一つ</u> にチェックをしてください。 ①の申請をした場合には、難民の該当性及び補完的保護対象者の該当性について判断されます。 ②の申請をした場合には、補完的保護対象者の該当性のみが判断され、難民の該当性については判断されません。					
氏 名				性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	(年)	(月)	(日)	現在の職業	
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）				出生地	
住居地					
連絡先（電話番号）	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 本人以外				
	(本人以外の場合) 連絡先氏名				
	所持の有無	(ありの場合) 番号		所持の有無	(ありの場合) 名称
旅 券	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		その他の所持する身分証等	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
官 用 欄					

(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

**【注意事項】**

以下の注意事項をよく読んで上で質問に答えてください。  
読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

- この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。
- 回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。
- この申請書に事実と反することを記載したり、虚偽の資料を提出した場合は、審査上不利を被ることがあります。
- 在留資格を有していない方による3回目以降の申請については、「難民の認定又は補完的保護対象者の認定を行うべき相当の理由がある資料」が提出されない限り、送還は停止されません。申請書のみ提出した場合も上記資料に該当するか否かの判断は行いますが、その他に特に提出すべきと考える資料等がある場合は、申請書と共に提出してください。

1 前回の難民・補完的保護対象者認定申請後、国籍、家族構成、来日前の居住歴、来日前の最終学歴、来日前の職歴、日本の出入国歴、海外渡航歴及び宗教（宗派）に変更はありますか。

- いいえ
- はい

→変更事項はどれですか。

- 国籍                       家族構成                       来日前の居住歴                       来日前の最終学歴
- 来日前の職歴                       日本の出入国歴                       海外渡航歴                       宗教（宗派）

→変更内容を具体的に書いてください。

2 前回主張した迫害事情について、今回も引き続き主張しますか。

- はい
- いいえ

→「いいえ」と答えた場合は、その理由を具体的に書いてください。

3 今回は、新たに主張する迫害事情がありますか。

- ない → 4以降の質問に答えてください。
- ある

(1) 「新たな迫害事情」は、前回主張した迫害事情と関連するものですか。

- いいえ
- はい

(2) 「新たな迫害事情」が発生した時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

(3) 「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

(4) 「新たな迫害事情」が発生した場所は、どこですか。

(5) 「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

(6) 「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えてください。

ア 迫害を受けたのは誰ですか。

- あなた自身
- あなたの家族・親族
- 上記以外（具体的に書いてください。）

イ 誰から迫害を受けましたか。

- 前回申請と同様
- 上記以外（具体的に書いてください。）

ウ どのような迫害を受けたのですか。

エ 迫害を受けたのは、なぜですか。

- 前回申請で主張した理由と同様
- 上記以外（具体的に書いてください。）

オ 迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合、それを具体的に書いてください。

(7) あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

- 前回申請と同様
- 上記以外（以下に具体的に書いてください。）

ア 誰から

- 国家機関（名称等）
- 上記以外（名称等）

イ どのようなことをされるおそれがありますか。

4 今回、新たに提出する資料はありますか。

- ない
- ある

→「ある」と答えた場合は、その資料の内容を具体的に書いてください。

資料名	内容	前回までに提出できなかった理由	提出予定時期

5 現在の健康状態はどうか。

良好

不良

(1) 具体的な病名・症状を記載してください。

(2) 通院や医師による治療を受けていますか。

はい

いいえ

6 難民調査官のインタビューを希望しますか。

はい

いいえ

「はい」と答えた場合は、難民調査官がインタビューする際に通訳は必要ですか。

はい → (1) 及び (2) を回答してください。

いいえ → (2) を回答してください。

(1) 通訳は何語を希望しますか。

\_\_\_\_\_ 語

(2) その他インタビューに関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。

(例：難民調査官や通訳人の性別、通訳人の国籍)

記載した内容に誤りがない場合には、以下にチェックをして入れてください。

申請書に記載した内容はすべて理解しており、誤りはありません。

本件申請書を代理人(注)が記載した場合には、以下の項目について記載してください。

(注) 外国人が16歳を満たない者であるとき又は疾病その他の事由により自ら出頭できないときは、当該申請者の父、母、配偶者、子、又は親族が申請者に代わって申請することができます。

(記載・作成した人の氏名)

(申請者との関係)

申請者(代理人)の署名 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

別記第七十六号の三様式（第五十六条関係）

日本国政府法務省	番 号 年月日
<p>取 消 通 知 書</p> <p>殿</p> <p>1 氏 名 _____ 男 女</p> <p>2 生 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p>3 国 籍 ・ 地 域 _____</p> <p>出入国管理及び難民認定法第61条の2の2第4項の規定により、 年 月 日付けのあなたに対する下記の許可を取り消したの で、通知します。</p> <p>記</p> <p>※</p>	

(注) 1 ※には許可を取り消した者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(表) 別記第七十六号の四様式 (第五十六条の二関係)

## 注意事項

- ア 住居を変更するときは、あらかじめ承認を受けなければなりません。
- イ 行動範囲外に赴く必要があるときは、あらかじめ承認を受けなければなりません。
- ウ 本許可書は常に携帯し、権限のある官憲に要求された場合には、これを提示しなければなりません。
- エ 仮滞在期間の更新申請は、同許可期限の10日前から受け付けます。
- オ 仮滞在の条件に違反したときは、仮滞在許可を取り消すことがあります。
- カ 報酬を受ける活動の許可を受けている場合は、同許可に付された条件に違反したときなどには、同許可を取り消すことがあります。
- キ 報酬を受ける活動の内容 (勤務先や報酬額等) や生計 (被扶養者の人数・家賃額等) に変動の予定がある場合には、あらかじめ地方出入国在留管理局に連絡しなければなりません。
- ク 出頭の際は、本許可書を持参してください。

日本国政府法務省

## 仮滞在許可書



番 号

発行年月日

出入国在留管理庁

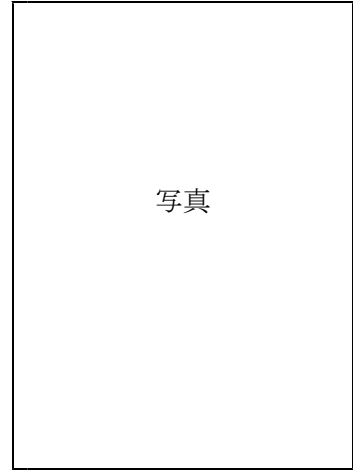
(注) 用紙の大きさは、日本産業規格A列5番とする。

(裏)

殿

出入国管理及び難民認定法第61条の2の4の規定に基づき、  
仮滞在を許可します。

- 1 氏名 ..... 男女
- 2 生年月日 .....
- 3 国籍・地域 .....
- 4 仮滞在期間 (許可期限 年 月 日) .....



※

(注) ※には許可する者の職名を記入するものとする。

仮滞在の条件

- 1 住居 .....
- 2 行動範囲 .....
- 3 報酬を受ける活動の有無及び条件 有 (許可番号: 号・許可年月日: ) 無
- (1) 勤務先の名称及び所在地  
名称 .....
- 所在地 .....
- (2) 活動の内容 .....
- (3) 活動の期間 .....
- (4) 報酬額の上限 (月額) .....
- 4 出頭の要請があった場合には、指定した日時、場所に出頭してください。

更新許可欄

年 月 日				
仮滞在期間(許可期限)				
許可者印				

別記第七十六号の六の二様式（第五十六条の三関係）

日本国政府法務省	番 号 年月日
決 定 書	
1 氏 名 _____	男 女
2 生 年 月 日 _____	年          月          日
3 国 籍 ・ 地 域 _____	
4 難 民（補完的保護対象者）認定申請番号 _____	
<p>上記の者に対し、第61条の2の5第1項の規定により、次のとおり決定する。</p>	
決定内容	
理 由	
※ _____	

(注) 1 ※には決定を行った者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第七十六号の七様式（第五十六条の四関係）

番 号

年月日

日本国政府法務省

仮 滞 在 許 可 取 消 通 知 書

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 仮 滞 在 許 可 番 号 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第61条の2の6の規定により、 \_\_\_\_\_ 年  
\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日付けのあなたに対する仮滞在の許可は、下記の理由により  
取り消したので、通知します。

あなたの所持する仮滞在許可書を速やかに返納しなければなりません。

理 由

※  
\_\_\_\_\_

- (注) 1 ※には仮滞在許可を取り消した者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

日本国政府法務省

番 号

## 報酬を受ける活動許可申請書（仮滞在）

\_\_\_\_\_  
出入国在留管理局長 殿

出入国管理及び難民認定法第61条の2の7第2項の規定に基づき、次のとおり報酬を受ける活動の許可を申請します。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 報酬を受ける活動の内容(労働条件を明示する書類を添付すること。)

(1) 勤務先の名称 \_\_\_\_\_

(2) 勤務先の所在地 \_\_\_\_\_

(3) 勤務先の電話番号 \_\_\_\_\_

(4) 職務の内容 \_\_\_\_\_

(5) 報酬額(月額) \_\_\_\_\_

5 日本で同居している扶養親族(父・母・配偶者・子)

有(「有」の場合は、以下の欄に記入してください。足りない場合は別紙を提出してください。)

無

(1) ① 続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

③生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ④国籍・地域 \_\_\_\_\_

⑤ 職 業 \_\_\_\_\_

官 用 欄

(2) ① 続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

③生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ④国籍・地域 \_\_\_\_\_

⑤ 職 業 \_\_\_\_\_

(3) ① 続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

③生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ④国籍・地域 \_\_\_\_\_

⑤ 職 業 \_\_\_\_\_

(4) ① 続柄 \_\_\_\_\_ ②氏名 \_\_\_\_\_

③生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ④国籍・地域 \_\_\_\_\_

⑤ 職 業 \_\_\_\_\_

6 住居の賃貸借契約の締結の有無

有(「有」の場合は、以下(1)～(4)の欄に記入し、賃貸借契約書の写しを添付してください。)

無

(1) 賃貸人の氏名(法人や団体の場合はその名称) \_\_\_\_\_

(2) 賃貸人の住所又は所在地 \_\_\_\_\_

(3) 賃 貸 借 契 約 期 間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 から \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで

(4) 1か月分の賃料(水道光熱費・共益費・駐車場代を除く。) \_\_\_\_\_

7 現在の所持金(預金額を含む)

(1) 日 本 円 \_\_\_\_\_ 円

(2) 日本円以外の外国通貨 \_\_\_\_\_

8 RHQ(アジア福祉教育財団難民事業本部)からの保護費など、各種機関・団体からの金銭援助の有無

有(「有」の場合は、以下(1)～(2)の欄に記入してください。)

無

(1) 給 付 機 関 ・ 団 体 名 \_\_\_\_\_

(2) 1か月当たりの給付額 \_\_\_\_\_

以上の記載内容は事実と相違ありません。  
申請人(代理人)の署名/申請書作成年月日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

別記第七十六号の九様式（第五十六条の五関係）

番 号

年月日

日本国政府法務省

報酬を受ける活動許可取消通知書（仮滞在）

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第61条の2の7第4項の規定に基づき、  
年 月 日付けあなたに対する報酬を受ける活動の許可（許可番号：  
）を下記の理由により取り消したので、通知します。

理 由

※

備考 この通知を受け次第速やかに仮滞在許可書を携行して 出入国在留管理局に出頭してください。

- (注) 1 ※には報酬を受ける活動の許可を取り消した者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記第七十六号の十様式(第五十六条の六関係)

報酬を受ける活動の状況に関する届出書(仮滞在)

地方出入国在留管理局長 殿

出入国管理及び難民認定法第61条の2の8の規定により、次のとおり届け出ます。

① 届出人

届出人の氏名 \_\_\_\_\_ 男女  
生 年 月 日 \_\_\_\_\_  
国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_  
住 居 地 \_\_\_\_\_  
報酬を受ける活動の  
許 可 番 号 \_\_\_\_\_

② 報酬を受ける活動の状況(許可時以降(2回目以降の届出の場合は、前回の届出時以降)に得た報酬について、1か月ごとの給与や労働時間、源泉徴収額が記載された給与明細等の写しを添付すること。)

勤 務 先 \_\_\_\_\_  
勤務先の所在地 \_\_\_\_\_  
勤務先の電話番号 \_\_\_\_\_  
職 務 の 内 容 \_\_\_\_\_  
報酬を受ける  
活 動 の 期 間 \_\_\_\_\_  
報酬額(月額) \_\_\_\_\_  
許可された活動の  
変 更 の 有 無 \_\_\_\_\_ 有・無  
変 更 内 容 \_\_\_\_\_

③ 生計の変動の有無

報酬を受ける活動の許可申請時に提出した自らの生計についての変動の有無 \_\_\_\_\_ 有・無

変 動 の 内 容 \_\_\_\_\_

④ その他参考となるべき事情

\_\_\_\_\_

以上の記載内容は事実と相違ありません。

届出人(代理人)の署名/届出年月日

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

注意 届出書作成後届出までに記載内容に変更が生じた場合、届出人が変更箇所を訂正し、署名すること。

番号

日本国政府法務省

難 民 認 定 取 消 通 知 書

殿

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 難民認定番号 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第61条の2の10第1項の規定により、 \_\_\_\_\_ 年 月  
日付けあなたに対する難民の認定は、下記の理由により取り消したので、通知しま  
す。

あなたの所持する難民認定証明書及び難民旅行証明書を速やかに返納しなければな  
りません。

理 由

上記の処分に不服があるときは、この通知を受けた日から7日以内に、法務大臣に対  
し審査請求をすることができます。

年 月 日

※

(注) 1 ※には難民の認定を取り消す者の職名を記入するものとする。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

番号

日本国政府法務省

補完的保護対象者認定取消通知書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 補完的保護対象者認定番号 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第61条の2の10第2項の規定により、 \_\_\_\_\_ 年 月  
日付けあなたに対する補完的保護対象者の認定は、下記の理由により取り消したの  
で、通知します。

あなたの所持する補完的保護対象者認定証明書を速やかに返納しなければなりません。

理 由

上記の処分に不服があるときは、この通知を受けた日から7日以内に、法務大臣に対  
し審査請求をすることができます。

年 月 日

※

(注) 1 ※には補完的保護対象者の認定を取り消す者の職名を記入するものとする。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

日本国政府法務省

番 号

年 月 日

## 審 査 請 求 書

法 務 大 臣 殿

- 年 月 日 付け
- 難民及び補完的保護対象者の認定をしない処分
  - 難民の認定をしない処分
  - 難民の認定の取消し
  - 補完的保護対象者の認定をしない処分
  - 補完的保護対象者の認定の取消し

に対し不服があるので、出入国管理及び難民認定法第61条の2の12の規定により、下記のとおり審査請求をします。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国籍・地域 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

不服の理由

\_\_\_\_\_

審査請求人（代理人）の署名 \_\_\_\_\_

番 号

日本国政府法務省

年 月 日

審 査 請 求 書

法 務 大 臣 殿

年 月 日 付 け

出入国管理及び難民認定法第61条の2第1項の規定による難民認定

出入国管理及び難民認定法第61条の2第2項の規定による補完的保護対象者認定の申請について、いまだに何らの処分がないので、同法第61条の2の12の規定により、下記のとおり審査請求をします。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男 女

2 生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

3 国 籍 ・ 地 域 \_\_\_\_\_

4 住 居 地 \_\_\_\_\_

審査請求人（代理人）の署名 \_\_\_\_\_

日本国政府法務省

番 年	号 月 日
--------	----------

通 知 書

殿

年 月 日付け からの

に対する審査請求について、出入国管理及び難民認定法第61条の2の12第6項の規定により読み替えて適用される行政不服審査法第30条第1項の規定に基づき、審査請求人が申述書を提出すべき期間を

年 月 日 まで

と定めたので、通知します。

なお、上記の期間内に申述書が提出されない場合、出入国管理及び難民認定法第61条の2の12第6項の規定により読み替えて適用される行政不服審査法第41条第2項第1号の規定により、審理手続を終結させることがあります。

難 民 審 査 参 与 員

番 号

年 月 日

日本国政府法務省

## 口 頭 意 見 陳 述 不 実 施 通 知 書

殿

年 月 日 付 け

から の

に対する審査請求について、出入国管理及び難民認定法第61条の2の12第6項の規定により読み替えて適用される行政不服審査法第31条第1項ただし書の規定に基づき、下記の理由により、口頭意見陳述を実施しないこととしたので、通知します。

理 由

- （ ）により  
意見を述べる機会を与えることが困難と認められる
- 申述書に記載された事実その他の申立人の主張に係る事実が真実であっても、何らの難民又は補完的保護対象者となる事由を包含していない
- その他（ ）

難 民 審 査 参 与 員

番	号
年 月 日	

日本国政府法務省

## 口 頭 意 見 陳 述 実 施 通 知 書

殿

年 月 日付け からの

に対する審査請求について、出入国管理及び難民認定法第61条の2の12第6項の規定により読み替えて適用される行政不服審査法第31条第2項の規定に基づき、 からの申立てにより、  
下記のとおり、口頭意見陳述を実施することとしたので、通知します。

なお、申立人が正当な理由なく口頭意見陳述に出頭しない場合、行政不服審査法第41条第2項第2号の規定により、審査手続を終結させることがあります。

口頭意見陳述の実施期日等

期 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 時 分

場 所 \_\_\_\_\_

口頭意見陳述を行う者 \_\_\_\_\_

難 民 審 査 参 与 員

日本国政府法務省

番 号

## 難 民 旅 行 証 明 書 返 納 命 令 書

殿

- 1 氏 名 \_\_\_\_\_ 男  
女
- 2 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日
- 3 国籍・地域 \_\_\_\_\_
- 4 難民旅行証明書番号 \_\_\_\_\_

出入国管理及び難民認定法第61条の2の15第8項の規定により、あなたの所持する難民旅行証明書を \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日までに返納することを命じます。

指定された期限までに返納しない場合は、出入国管理及び難民認定法第72条第1項第11号の規定により処罰されることがあります。

返納を命じる理由

年 月 日

出入国在留管理庁長官